



平成 30 年 8 月 30 日

各 位

株式会社省電舎ホールディングス
代表取締役社長 西島 修
(コード 1711 東証 2 部)
問い合わせ先：管理本部長 田中 圭
(03-6821-0004)

(訂正・数値データ訂正) 「平成30年3月期決算短信〔日本基準〕(連結)」
の一部再訂正について

平成30年8月10日に開示した「平成30年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」及び平成30年8月14日に開示した『(訂正・数値データ訂正) 「平成30年3月期決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部訂正について』に訂正すべき 事項がありましたので、下記のとおりお知らせいたします。なお、訂正箇所は、下記の通りとなります(訂正箇所に下線を付しております)。

記

●サマリーデータ

1. 平成 30 年 3 月期の連結業績(平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日)

(2) 連結財政状態

<訂正前>

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	百万円	百万円
30年3月期	2,159	261	3.6	28.49
29年3月期	2,049	852	34.0	<u>257.80</u>

(参考)自己資本 30年3月期 78百万円 29年3月期 696百万円

<訂正後>

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	百万円	百万円
30年3月期	2,159	261	3.6	28.49
29年3月期	2,049	852	34.0	<u>257.08</u>

(参考)自己資本 30年3月期 78百万円 29年3月期 696百万円



●添付書類

1. 経営成績・財政状態に関する分析

(1) 経営成績に関する分析

(当期の経営成績)

<訂正前>

中略

以上の結果、当連結会計年度における売上高1,789百万円(前年同期比640百万円減、26.4%減)、営業損失284百万円(前年同期比248百万円減、前年同期 営業損失36百万円)、経常損失292百万円(前年同期比260百万円減、前年同期 経常損失31百万円)、親会社株主に帰属する当期純損失582百万円(前年同期比512百万円減、前年同期 親会社株主に帰属する当期純利益70百万円)となりました。

<訂正後>

中略

以上の結果、当連結会計年度における売上高1,789百万円(前年同期比640百万円減、26.4%減)、営業損失284百万円(前年同期比248百万円減、前年同期 営業損失36百万円)、経常損失292百万円(前年同期比260百万円減、前年同期 経常損失31百万円)、親会社株主に帰属する当期純損失582百万円(前年同期比652百万円減、前年同期 親会社株主に帰属する当期純利益70百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する分析

①資産、負債及び純資産の状況

<訂正前>

(流動資産)

当連結会計年度末における流動資産は1,455百万円(前年同期比291百万円増)となりました。これは主に未成事業支出金の増加(246百万円)、受取手形及び売掛金の増加(119百万円)、現金及び預金の減少(16百万円)等によるものであります。

(固定資産)

当連結会計年度末における固定資産は703百万円(前年同期比166百万円減)となりました。これは主に投資有価証券の減少(115百万円)、貸倒引当金の増加(△50百万円)等によるものであります。

(流動負債)

当連結会計年度末における流動負債は1,537百万円(前年同期比776百万円増)となりました。これは主に買掛金の増加(114百万円)前受金の増加(465百万円)、課徴金引当金の増加



(150 百万円)によるものであります。

(固定負債)

当連結会計年度末における固定負債は360 百万円(前年同期比63 百万円減)となりました。これは主に繰延税金負債の減少(37 百万円)等によるものであります。

(純資産)

当連結会計年度末における純資産は261 百万円(前年同期比587 百万円減)となりました。これは主に当期純損失の計上(582 百万円)等によるものであります。

後略

<訂正後>

(流動資産)

当連結会計年度末における流動資産は1,455 百万円(前年同期比275 百万円増)となりました。これは主に未成事業支出金の増加(246 百万円)、受取手形及び売掛金の増加(112 百万円)、現金及び預金の減少加(16 百万円)等によるものであります。

(固定資産)

当連結会計年度末における固定資産は703 百万円(前年同期比166 百万円減)となりました。これは主に投資有価証券の減少(115 百万円)、貸倒引当金の増加(△50 百万円)等によるものであります。

(流動負債)

当連結会計年度末における流動負債は1,537 百万円(前年同期比763 百万円増)となりました。これは主に買掛金の増加(114 百万円)前受金の増加(465 百万円)、課徴金引当金の増加(150 百万円)によるものであります。

(固定負債)

当連結会計年度末における固定負債は360 百万円(前年同期比63 百万円減)となりました。これは主に繰延税金負債の減少(37 百万円)等によるものであります。

(純資産)

当連結会計年度末における純資産は261 百万円(前年同期比590 百万円減)となりました。これは主に親会社株主に帰属する当期純損失の計上(582 百万円)等によるものであります。

後略

以上